

研究実施のお知らせ

2022年02月01日 ver.1.0

研究課題名

肝切除術における 3次元画像ソフトを用いた教育システムの質と安全性に関する検討

研究の対象となる方

2022年3月(研究許可後)から2022年11月30日の間に島根大学医学部附属病院で肝・胆道疾患(良性・悪性含む)と診断され、肝切除療法を受けられた方

研究の目的・意義

肝疾患の治療では、外科的切除は疾患根治のために重要な治療法です。肝臓は血管(肝静脈、下大静脈)およびグリソン鞘(動脈・門脈・胆管)が実質内を複雑に走行し、一度これらの血管損傷が起これば大量出血を引き起こす事態となる場合があります、そのため手術手技は高難度で、その手技習得には5~10年くらいを要します。画像支援ソフト(REVORAS, ザイオソフト株式会社)は、肝臓CT画像(2次元)データを用いて実臓器に近い3次元画像を作成する機能があり、肝実質内を走行する血管・グリソン鞘も忠実に描出できます。この画像を用いることで、コンピューター画面上で3D肝臓画像を自由自在に観察出来ること、さらに手術術式別のシュミレーション画像の作成も自由自在に可能です。

肝臓外科医を志す若手外科医を対象にして、画像支援ソフト(REVORAS, ザイオソフト株式会社)を用いた肝臓の画像解析および手術立案を行い、かつ肝切除前の術式シュミレーションや手術中のナビゲーションにも活用することで安全な手術と効率的で有能な外科医育成を目指します。

研究の方法

電子カルテおよび病院保管資料から血液生化学検査(血算、栄養状態、肝機能、腎機能、腫瘍マーカー)や画像所見(超音波、CT、MRI、内視鏡検査結果)、臨床経過(主訴、現病歴、既往歴、合併症、再発の有無、生死の有無)のデータを抽出し、治療法の安全性や質、および外科医教育法に影響を与える因子について、統計学的に解析します。収集したデータは、島根大学医学部消化器・総合外科学講座の外部から容易にアクセスできないパソコン内に保管します。研究対象者の識別は研究用の識別番号により行い、その対応表は収集データとは別に、施錠可能な場所で研究責任者が適切に保管します。

研究の期間

2022年3月（研究許可後）～2025年12月31日

研究組織

この研究は島根大学医学部 消化器・総合外科学講座が行います。

研究代表者（研究で利用する試料・情報の管理責任者）：

島根大学医学部医学部 消化器・総合外科学講座/附属病院 肝胆膵外科
川畑康成

情報の利用停止

ご自身の情報をこの研究に利用してほしくない場合には、ご本人または代理人の方からお申し出いただければ利用を停止することができます。

なお、利用停止のお申し出は、退院後半年以内までをお願いいたします。研究期間中、随時解析・結果の公表を行っていくため、情報の一部を削除することができず、ご要望に沿えないことがあります。

相談・連絡先

この研究について、詳しいことをお知りになりたい方、ご自身の情報を研究に利用してほしくない方、その他ご質問のある方は次の担当者にご連絡ください。

研究責任者：

島根大学医学部 消化器・総合外科学講座/附属病院 肝胆膵外科 川畑康成

〒693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1

電話 0853-20-2232 FAX 0853-20-2229